

## 2 地域医療構想

### （1）平成37年（2025年）の必要病床数と在宅医療等の必要量<sup>1</sup>

※本欄は本庁で作成します。

	平成37年(2025年)の必要病床数				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満	※1	—
賀茂	20	186	271	182	659
熱海伊東	84	365	384	235	1,068
駿東田方	609	1,588	1,572	1,160	4,929
富士	208	867	859	676	2,610
静岡	773	1,760	1,370	1,299	5,202
志太榛原	321	1,133	1,054	738	3,246
中東遠	256	1,081	821	698	2,856
西部	889	2,104	1,572	1,449	6,014
静岡県	3,160	9,084	7,903	6,437	26,584
	11.9%	34.2%	29.7%	24.2%	100%

	平成37年(2025年) 在宅医療等の必要量	
	在宅医療等 ※2	うち訪問診療分 ※3
賀茂	1,024	428
熱海伊東	1,643	735
駿東田方	7,186	3,271
富士	3,723	1,612
静岡	8,082	3,845
志太榛原	4,585	1,832
中東遠	4,198	1,420
西部	9,652	4,162
静岡県	40,093	17,305

※1：慢性期機能の必要病床数には、一般病床での医療資源投入量175点未満、療養病床での医療区分1の70%、地域差解消分にあたる患者数は含まれておらず、「在宅医療等」として計上されている。

※2：平成37年の在宅医療等の数値は①一般病床で医療資源投入量175点未満の患者数 ②療養病床入院患者数のうち医療区分1の70% ③訪問診療を受けている患者数 ④老健施設の入所者数 とともに、慢性期入院受療率の地域差解消分を含んだ数値

※3：レセプトデータにおいて「在宅患者訪問診療料 同一建物居住者以外」、「在宅患者訪問診療料 同一建物居住者 特定施設等入居者」、「在宅患者訪問診療料 同一建物居住者 特定施設等以外入居者」を算定している患者数から推計

### （2）圏域の動向

#### ○医療提供体制・疾病構造・患者の受療動向

- ・平成28年4月現在の使用許可病床数は、一般病床が4,519床、療養病床が2,261床となっています。
- ・区域内で一般病床、療養病床をもつ病院は43病院（精神科病院を含めると48病院）、そのうち500床以上の病院は2病院、200床以上500床未満の病院が6病院、200床未満が35病院（81.4%）と、中小の病院の割合が高くなっています。
- ・区域の疾病構造を死因別標準化死亡比（平成22年～26年SMR）で見ると、がん、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、肝疾患、喘息、肺炎は、県全体に比べ高くなっており、精神疾患は低くなっています。中でも、糖尿病、肝疾患、喘息、肺炎は対県SMRが110を超えており特に高くなっています。
- ・人口に占める高齢者割合の増加により、認知症患者も増加傾向にあります。
- ・県立静岡がんセンターは、高度先端医療の提供等を行う「特定機能病院」の認定を受けています。国指定の「がん診療連携拠点病院」には、県立静岡がんセンターと順天堂大学医学部附属静岡病院が指定され、県指定の静岡県地域がん診療連携推進病院に静岡医療センターと沼津市立病院が指定されています。
- ・区域内の初期救急医療は、4箇所の日夜間救急センター等及び病院・診療所における在宅

<sup>1</sup> 在宅医療等の必要量については、在宅医療等を必要とする対象者数を表している。実際には全員が1日に医療提供を受けるものではなく、その患者の受ける医療の頻度等によって医療提供体制は異なってくる。

当番医制が行われています。第2次救急医療は、17病院による病院群輪番制により対応をしています。「救命救急センター」は沼津市立病院、順天堂大学医学部附属静岡病院の2病院があり、富士市以東の県東部地域全体の患者を受け入れています。

医師不足により、初期救急医療の当番医制や第2次救急医療の輪番を組むのに苦労している現状があり、また、救命救急センターの負担も増加しています。

- ・順天堂大学医学部附属静岡病院は、東部ドクターヘリの運航拠点となっており、賀茂、熱海伊東区域など広域的な救急医療に寄与しています。
- ・区域内で正常分娩を担う医療機関は、4病院、12診療所、1助産所がありますが産科診療所は、伊豆市には無く、御殿場・小山地域には1施設しか無いなど、地域格差が発生しているとともに、産科診療所や助産所で分娩を担わない施設が増えているなど、地域の分娩機能の低下が危惧されています。
- ・当区域住民のほとんどが区域内の医療機関に入院しており、急性期、回復期、慢性期ともに区域内での医療はほぼ完結できています。
- ・患者の流入流出については、流出患者の割合に比べて流入患者の割合が高くなっています。
- ・人口10万人当たり医師数（医療施設従事者）は212.8人と県平均を上回っていますが、県立静岡がんセンターや順天堂大学医学部附属静岡病院などの大きな病院に集中しており、中小病院の勤務医師は不足している状況です。看護師養成施設は、順天堂大学保健看護学部を含めて5施設あります。
- ・入院医療と在宅医療の橋渡しをしていく上で重要な役割を担う地域包括ケア病床を設置している病院は圏域内で9病院・341床あります。また、回復期リハビリテーション病床を設置している病院は6病院・485床あります。

#### ○基幹病院までのアクセス

- ・区域内の面積は、1,277.57 km<sup>2</sup> と広いですが、東名高速道路、伊豆縦貫自動車道、国道1号線バイパス、国道246号線バイパスが走っており、基幹病院（県立静岡がんセンター、沼津市立病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡医療センター）までのアクセスは良好です。（平成29年6月1日現在）

#### ○在宅医療等の状況

- ・在宅療養支援病院は8病院、在宅療養支援診療所は57診療所（平成29年5月）あります。訪問看護ステーションは34箇所（平成29年5月）ありますが、小規模訪問看護ステーションは、開設しても人材や経営的に不安定等の問題で閉鎖するところもあり、増減があります。在宅療養支援歯科診療所は44診療所（平成29年5月）あります。
- ・在宅患者訪問薬剤管理指導を実施する薬局（薬局の薬剤師が患者宅を訪問し、薬剤の管理や服薬指導などを行う薬局）は、272箇所（平成29年5月現在）、がんの「ターミナルケア」を担う薬局（医療用麻薬の提供を行い、時間外休日の対応が可能な薬局）は、137箇所（平成28年10月現在）あります。
- ・県医師会が在宅医療推進センターを設置し、在宅医療に取り組む医師・看護師を対象にスキルアップ講習会の開催やICT（情報通信技術）を活用した在宅患者の医療情報の共有化と連携の構築に取り組んでいます。
- ・区域内には、認知症疾患医療センターが2箇所、精神科病院が5箇所あり、認知症疾患に対

応しています。また、認知症サポート医やかかりつけ医の確保、認知症初期集中支援チームの設置に取り組んでいます。

○平成 28 年度(2016 年度)以降の状況変化と今後の見込

- ・沼津市立病院が 74 床減床(平成 28 年 4 月)
- ・独立行政法人国立病院機構静岡医療センターに同法人静岡富士病院 60 床を統合(平成 29 年 10 月)
- ・伊豆函南セントラル病院の療養病床 85 床を三島中央病院へ統合(平成 29 年 10 月)

### **(3) 実現に向けた方向性**

---

- ・公的病院をはじめとした勤務医不足が大きな課題であり、それを解決するために、「ふじのくに地域医療支援センター」を継続し、専門医研修ネットワークプログラムの活用などを通じた医師の確保・定着を図る取組みが必要です。また、看護職員等の人材を確保するため、各病院の勤務環境改善に向けた取組みを支援する必要があります。
- ・産科医療空白地域を解消し、地域で安心してお産ができる体制を構築するため、郡市医師会など関係団体と連携しながら、産科医師の地域への定着を図る取組みが必要です。また、産科医師の負担軽減を図るため、助産師の確保などが必要です。
- ・在宅医療を推進するためには、在宅医療を担う医師・看護師の人材確保、急変時等における時間外診療体制の整備、病病・病診連携、多職種連携等を推進する取組、市町による地域包括ケアシステムの充実を図るなどが必要です。
- ・在宅医療について、介護施設や自宅で充実した看取りを行うための研修会等の開催により、県民の意識改革に向けた啓発を行うことが必要です。併せて医師会、行政、高齢者施設、救急病院、訪問看護ステーション等関係者の意見交換会等を開催し、在宅での看取りの支援をしていくことが必要です。
- ・医療が必要な在宅の認知症患者について、認知症サポート医やかかりつけ医による治療や地域住民等による見守り対策が必要です。また、人口の高齢化に伴い認知症が増加することに対する地域社会への啓発を進め、発生予防や認知症への理解向上対策に取り組むことも重要です。
- ・在宅歯科医療を推進するために、市町、郡市医師会や郡市歯科医師会等の多職種間の連携・協働に向けた在宅医療の提供体制を構築する取組が必要です。
- ・在宅の患者や家族が訪問薬剤管理指導をより多く利用できるよう医療機関・施設など関係機関と幅広く連携する取組が必要です。